DocuPrint 205/255/305
ART IV 設定ガイド

ご注意

① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。

はじめに

このたびは DocuPrint 205/255/305 をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書では、ART IV について記載しています。

製品の性能を十分に発揮させ、効果的にご使用いただくために、必要に応じて本書をお読みください。

本書の内容は、ご使用になる環境の基本的な知識や操作方法、および DocuPrint 205/255/305 の基本操作を習得されていることを前提に説明しています。

2003 年 9 月
富士ゼロックスプリンティングシステムズ株式会社

目次

こんなときには、このマニュアルを参照してください

本機に同梱されているマニュアルと記載内容

セットアップ & クイックリファレンスガイド	本機の設置手順、用紙のセット方法、困ったときの対処方法などを説明しています。
CentreWare の CD-ROM 内のマニュアル（HTML 文書）	プリンター環境の設定方法と、プリンタードライバーおよび弊社ソフトウエアのインストール方法を説明しています。
CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ	CentreWare Internet Services の項目や各機能の設定方法を説明しています。
プリンタードライバーのオンラインヘルプ	プリンタードライバーの項目や各機能の設定方法を説明しています。
ユーザーズガイド (PDF)	印刷設定の説明や、操作パネルのメニュー項目、日常管理について、詳しく説明しています。 （このマニュアルは、CentreWare の CD-ROM 内の機種固有マニュアルの中に格納されています。）
各エミュレーション設定ガイド (PDF)	ART IV、ESC/P、201H、HP-GL、HP-GL/2 の各エミュレーションについて説明しています。 （このマニュアルは、CentreWare の CD-ROM 内の機種固有マニュアルの中に格納されています。）

オプション製品に同梱されているマニュアル、購入するマニュアル

PostScript Driver Library CD-ROM 内のマニュアル (PDF)	PostScript® プリンターとして使用するための設定方法や、プリンタードライバーで設定できる項目を説明しています。 （PostScript Driver Library CD-ROM は、PostScript ソフトウエアキットに同梱されています。）
設置手順書	各オプション製品の設置手順を説明しています。
商品マニュアル（必要に応じて購入してください）	プリンター（プロッター）制御言語のコマンドなどを説明したマニュアル（リファレンスマニュアル（ART IV 対応）など）です。

補足
・ PDF 文書を表示するには、お使いのコンピューターに Adobe® Acrobat® Reader がインストールされている必要があります。インストールされていない場合は、CentreWare の CD-ROM を使って、まず Acrobat Reader をインストールしてください。

本書の読み方

前提知識

本書の内容は、お使いの OS（オペレーティングシステム）の環境の基本的な知識や操作方法を理解されていることを前提に説明しています。お使いの OS の基本的な知識や操作方法については、OS に付属の説明書をお読みください。

本書の構成

本書は、以下の構成になっています。

1. ART IV を使用するには

使用できるインターフェイスや、使用できるフォントについて説明しています。

2. プリンターでの設定

ART IV コマンドを使用するための、プリンターでの設定について説明しています。

本書の表記

1. 本文中の「コンピューター」は、パーソナルコンピューターやワークステーションの総称です。

2. 本文中では、説明する内容によって、次のマークを使用しています。
   - 注記　注意すべき事項を記述しています。必ずお読みください。
   - 補足　補足事項を記述しています。
   - 参照　参照先を記述しています。

3. 本文中では、次の記号を使用しています。
   - 参照「　」：参照先は、本書内です。
   - 参照『　』：参照先は、本書内ではなく、ほかのマニュアルです。
   - [　]：コンピューターやプリンター操作パネルのディスプレイに表示される項目を表します。また、プリンターから出力されるレポート / リスト名を表します。
   - 〈　〉：キーボード上のキーや、プリンターのハードウエアボタン、ランプなどを表します。

1 ART IV を使用するには

1.1 ART IV について

プリントデータはある規則（文法）に従ったデータになっています。本機では、この規則（文法）をプリント言語といいます。

本機が対応しているプリント言語は、ページ単位にイメージを作るページ記述言語と、ほかのプリンターでの印刷結果に近い結果を得ることができるエミュレーションに分類できます。

ここでは、本機で使用できるプリント言語の ART IV について説明します。

補足
・ ART IV は、富士ゼロックス株式会社が開発したページ記述言語です。
・ ART は、Advanced Rendering Tools の略です。

ホストインターフェイスとプリント言語

ART IV 言語に対応しているホストインターフェイスは、次のとおりです。

・ パラレルポート
・ LPD ポート
・ NetWare ポート
・ SMB ポート
・ IPP ポート
・ USB ポート
・ Port9100 ポート

プリント言語の切り替え

本機は、複数のプリント言語に対応しています。このため、対応するプリント言語の切り替えができるようになっています。

対応するプリント言語を切り替える方法は、次のとおりです。

コマンド切り替え

対応するプリント言語を切り替えるコマンドを用意しています。本機は、コマンドを受け取ると、対応するプリント言語に切り替えます。

自動切り替え

ホストインターフェイスが受信したデータを分析し、プリント言語を自動的に特定します。そして、対応するプリント言語に切り替えます。

インターフェイス従属

操作パネルを使って、ホストインターフェイスごとにプリント言語を設定します。データを受信したホストインターフェイスに合わせて、対応するプリント言語に切り替えます。

フォームについて

本機では、ART IV を使用して定形のフォームを登録できます。フォームは、64 ファイルまで登録できます。オプションの内蔵増設ハードディスク装着時は、2048 ファイルまで登録できます。

補足
- フォーム登録数の上限を超えてフォームを登録しようとした場合、またはフォーム用のメモリー容量がいっぱいになった場合、フォーム登録の操作中にエラーなどは表示されませんが、新しいフォームは登録されません。
  フォームが登録されたかどうかは、[ART IV、PR201H、ESC/P ユーザー定義リスト］で確認してください。[ART IV、PR201H、ESC/P ユーザー定義リスト］については、『ユーザーズガイド 6.2 レポート / リストを印刷する』を参照してください。

1.2 フォントについて

使用できるフォント

ART IV では、以下のフォントが使用できます。

アウトラインフォント

和文

- 明朝
- ゴシック
- FMT

欧文

- 明朝
- ゴシック
- FMT
- Enhanced Classic
- Enhanced Modern
- CS Times Roman（Times New Roman）
- CS Times Bold（Times New Roman Bold）
- CS Times Bold Italic（Times New Roman Bold Italic）
- CS Times Italic（Times New Roman Italic）
- CS Triumvirate（Arial）
- CS Triumvirate Italic（Arial Italic）
- CS Triumvirate Bold（Arial Bold）
- CS Triumvirate Bold Italic（Arial Bold Italic）

・CS Courier Medium（Courier New）
・CS Courier Oblique（Courier New Italic）
・CS Courier Bold（Courier New Bold）
・CS Courier Bold Oblique（Courier New Bold Italic）
・CS Symbol（Symbol）
・OCR-B

補足
・CS 書体が指定された場合、本機では（　）内のフォントに置き換わって印刷されます。

ユーザー定義文字（外字）

本機では、ユーザー定義文字（外字）を使用できます。ユーザー定義文字は、メモリーにだけ格納できます。このため、電源を切ると消去されます。ただし、オプションの内蔵増設ハードディスクを装着すると、ユーザー定義文字はハードディスクに格納されるため、電源を切っても保持されます。ハードディスクに登録できるユーザー定義文字の容量は、メモリー格納時と同じ容量です。

ユーザー定義文字を格納するメモリーの容量は、ほかのユーザー定義データの容量と合わせた値を、操作パネルから設定できます。この値は、電源を切っても保持されます。

ユーザー定義文字は、ビットマップフォントとして登録されます。ユーザー定義文字は、各プリント言語の間で共有されません。

フォントキャッシュ

高速印刷を実現するために、ある程度の大きさまでのアウトラインフォントについては、フォントキャッシュを実行します。アウトラインフォントを印字するときには、一度、ビットマップの形式に変換されます。この処理時間をできるだけ短縮するために、処理後のビットマップ形式のデータを、メモリーに保存しておきます。これをフォントキャッシュといいます。

保存されたビットマップ形式のデータは、電源を切ったり、システムリセットをしたりすると、消えます。

2 プリンターでの設定

2.1 設定できる項目

ART IV に関連する共通メニューの設定項目について説明します。

参照
- 共通メニューで設定できる全項目と操作方法：『ユーザーズガイド 4 操作パネルの設定』

ART IV 設定項目一覧

ポートの起動

パラレル /LPD/NetWare/SMB/IPP/USB/Port9100

ART IV 言語を使用するポートを起動します。

プリントモード指定

各ポートのプリントモード指定で、ART IV 言語が使用できるように設定します。

パラレル /LPD/NetWare/SMB/IPP/USB/Port9100 の［プリントモード シテイ］（初期値：[ジドウ]）

プリントモードとして［ART4]、または［ジドウ］を選択します。

補足
- ［プリントモード　　シテイ］では、ホスト装置から受信したデータの処理方法を設定します。ここで［ART4］を設定すると、「プリント言語の切り替え」(P. 7) で説明している「自動切り替え」はできなくなります。

メモリー設定

メモリー設定メニューは、各インターフェイスのメモリー容量の変更などを行うためのメニューです。ART IV に関連する設定項目は、[ART4 フォームメモリー］と［ART4 ユーザテイギメモリー］です。

注記
- メモリー容量を変更すると、各メモリー領域に格納されているデータは、すべて消去されます。
- メモリーの全体量を超えた割り振りはできません。本機の電源を入れたときに、設定値が搭載メモリー容量を超えた場合は、システムによって自動的に調整されます。メモリーの設定については、『ユーザーズガイド 4.2 メニュー項目の説明』を参照してください。

補足
- 〈▼〉または〈▲〉ボタンで候補値を変更するときに、ボタンを押し続けると、連続的に表示を変えることができます。また、〈▼〉と〈▲〉ボタンを同時に押すと、初期値が表示されます。

ART4 フォームメモリー

ART IV フォームで使うメモリー容量を指定します。

128 ～ 2048KB の間で、32KB 単位にメモリー容量を設定します。初期値は［128K］です。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。オプションの内蔵増設ハードディスクが取り付けられている場合は、［ハードディスク］と表示されます。

ART4 ユーザテイギメモリー（ART4 ユーザー定義メモリー）

ART IV ユーザー定義で使うメモリー容量を指定します。

32 ～ 2048KB の間で、32KB 単位にメモリー容量を設定します。初期値は［32K］です。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。

初期化 / データ削除

NV メモリーに記憶されているプリンター設定値、ハードディスク、集計レポートの初期化と本機に登録されているフォームなどのデータを削除できます。

NV メモリーとは、電源を切っても本機の設定内容を保持できる不揮発性のメモリーのことです。

ART IV に関連する設定項目は、［フォームノ サクジョ］の［ART4 フォーム サクジョ］です。

フォームノ サクジョ（フォームの削除）

登録されているフォームがない場合は、「フォームトウロク ハ アリマセン」と表示されます。

■ART4 フォーム サクジョ（ART4 フォーム削除）

ART IV 用のフォームを削除します。

2.2 ART IV モードのリストについて

ART IV モードのリストについて説明します。

補足
・ ほかのレポート / リストについては、『ユーザーズガイド 6.2 レポート / リストを印刷する』を参照してください。

ART IV、PR201H、ESC/P ユーザー定義リスト

[ART IV、PR201H、ESC/P ユーザー定義リスト] では、登録したフォーム、ロゴ、ユーザー定義領域の使用状況などを確認できます。

DocuPrint 305
ART IV,PR201H,ESC/Pユーザー定義リスト

日時 : 2003/06/19 04:57

ART IVフォーム一覧

登録番号	登録フォーム名	バイト数	
No.1	"fm1 "	39	*
No.2	"fm2 "	39	

PR201Hフォーム一覧

登録番号	登録フォーム名	バイト数	
No.1	"fm1 "	39	*
No.2	"fm2 "	39	

ESC/Pフォーム一覧

登録番号	登録フォーム名	バイト数
No.1	"form0001"	1474008

ロゴ一覧

登録番号	登録ロゴ名	バイト数
No.1	"12344556"	402
No.2	"loggahgl"	1084829
No.3	"ｶﾅｶﾅｶﾅﾅﾅ"	402

ART IVユーザー定義領域使用状況

総バイト数	32768
空きバイト数	32768
使用バイト数	
ART IV外字データ	0
ART IV線タイプデータ	0
ART IVグレーパターンデータ	0
ART IV描画パターンデータ	0
ART IVコマンドマクロデータ	0

ユーザー定義メモリー情報

フォーム、ロゴ登録メモリーサイズ ハードディスク使用

プリント方法

操作パネルで、[レポート / リスト] の [ユーザーテイギ リスト] を選択し、印刷します。

索引

記号・英数

ハ

ヤ

マニュアルコメント用紙

本書をより使いやすいものとするために、皆様からの貴重なご意見（説明不足、間違い、誤字、誤植、ご要望など）をお待ちいたしております。ご記入に際しましては、マニュアルに関することのみ具体的にご指摘くださるようお願いいたします。

・マニュアルの名称	DocuPrint 205/255/305 ART IV 設定ガイド	・管理番号	ME3176J1-1

・ご 芳 名		・貴 社 名	
・所属部門		・電話番号	[内線]
・所 在 地			

・ページ	・行	・内容へのご指摘 / ご要望

・富士ゼロックス記入欄		
・記事	・受付 NO.	・受付担当印

1 版

[折り込み線]

富士ゼロックス（株）社内メール扱い

[送付先]

HID 開発部

マニュアルデザイン グループ (KSP)　行

担当社員

事業部　　営業所　　課 G

氏名

[折り込み線]

切り取り線

- ご記入くださいましたら点線の部分で折り込みホチキスなどでとめたうえ、お買い求めの販売店にお渡しください。
- このままで郵便物として投函なさらないようにご注意ください。

商品のお問い合わせ先について

● この商品の**保守**、**操作**、**修理**のお問い合わせ、**消耗品**のご購入について、
およびび本機を廃却する場合は、
商品に貼られている保守サポートの問い合わせ先カードの裏面に記載のあるテレフォンセンター、
または商品センターにお問い合わせください。

表面

裏面

お問い合わせ先が不明の場合は、富士ゼロックスプリンティングシステムズプリンターサポートデスクにお問い合わせください。（各アプリケーションの操作につきましては、各ソフトウエアメーカーの問い合わせ窓口にお問い合わせください。）

フリーダイヤル　フジゼロックス
0120-66-2209　FAX：03-3342-1552

フリーダイヤル受付時間：土曜、日曜、祝日を除く9時〜12時、13時〜17時30分、東京でお受けします。
ただし、通話地域制限がある内線電話機、および携帯電話機からはご使用になれません。全国通話ができる電話機をご使用ください。
表記の窓口は日本国内のお客様に限らせていただきます。

弊社へのお問い合わせの際には、機種名と機械番号を確認させていただきます。
保守サポートの問い合わせ先カードの裏面の「機種」「機械No.」、もしくは商品の背面または側面の銀色のシールに記載されている「商品名」「商品コード」「SER#」を事前にご確認ください。

DocuPrint 205/255/305 ART IV 設定ガイド

著作者 ― 富士ゼロックス株式会社
発行者 ― 富士ゼロックスプリンティングシステムズ株式会社
発行年月―2003 年 9 月第 1 版

（帳票 No: ME3176J1-1）